

第 48 期（2025 年度） 第 2 回理事会 議事録

日 時：2025 年 11 月 28 日(金)18:00～19:30

形 式：Web 会議形式

出席者：竹内宗之（理事長）、内田寛治、大塚将秀、小倉崇以、倉橋清泰、清水敬樹、
志馬伸朗、吉田健史、平井豊博、
石井宣大、佐藤暢一、松本幸枝（各理事）、竹田晋浩、藤野裕士（監事）

欠席者：玉木 彰（理事）

（敬称略）

- ・理事会開催に必要な理事の過半数の出席が報告され開会が宣言された。

I. 報告事項

1. 前回理事会議事録の確認・承認（竹内理事長）

- ・前回理事会議事録は、原案どおり承認された。

2. 持ち回り理事会の確認・承認（竹内理事長）

- ・審議 4 件の審議事項を確認・承認した。

3. 理事長報告（竹内理事長）

1) 令和 7 年度在宅人工呼吸器に関する講習会への後援承諾の件

- ・毎年後援を行っている本講習会について、後援名義使用依頼が届き承認した。

2) 印税収入の件

- ・『小児在宅人工呼吸療法マニュアル第 2 版』の印税として 246,323 円（税別）の収入があった。

3) EIT オンライン講習会の件

- ・EIT オンライン講習会を以下の概要で開催した。

形式 オンデマンド配信（監修：セミナー委員会）

期間 2025 年 11 月 21 日(金)～30 日(日)

対象 会員（会員専用ページに受講ページを設置）

講義 1 「EIT の仕組みや取り扱い方法」（35 分）

方山 真朱（自治医科大学附属さいたま医療センター集中治療部）

2 「臨床現場での使用法」（25 分）

庄野 敦子（島根大学医学部麻酔科学）

- ・『EIT 取り扱いマニュアル』も上記の講師に執筆いただいた。セミナー委員会の確認をもって同サイトに公開する。本マニュアルは講義の配信終了後も公開する。

4. 事務局からの報告（佐藤理事）

- ・2025年11月時点の会員数が以下のとおり報告された。
一般会員：1,821名（Dr 1,141、Ns 241、CE 305、PT 110、他 24）
賛助会員：13社 年間購読契約：7件
- ・会員動向は、2025年6月以降の6カ月間で学術集会の開催もあり、全職種で増加傾向がみられた。
- ・一般会員の会費納入状況は、2023年度が94.7%、2024年度が89.0%、2025年度が75.1%となった。
- ・チーム医療推進委員会で毎月報告を行っている Joyful Board は、毎月100程度のアクセスがあり、1～2件は新たに投稿され返信も必ずあり持続的に活用されている。

5. 学術集会報告、準備状況

1) 第47回学術集会（会長：吉田理事）

2025年8月30日(土)・31日(日)グランキューブ大阪（大阪）

「挑戦、そしてその先へ—Beyond the CHALLENGE—」

オンデマンド配信：2025年9月18日(木)12:00～10月21日(火)24:00

運営事務局：クレッシェー社

- ・決算報告を作成中であることが報告された。

2) 第48回学術集会（会長：平井理事）

2026年7月4日(土)・5日(日)国立京都国際会館（京都）

「呼吸療法の未来に向けたきずなの構築」

オンデマンド配信：2026年7月

運営事務局：コンベンションプラス社

- ・第48回学術集会オフィシャルサイトをまもなく公開することが報告された。
- ・役員・委員長宛に、2026年1月15日を期限としてプログラム企画を募集した。
- ・学会ホームページのリニューアルに伴うロゴの変更については、2026年1月1日付けで変更することとした。

3) 第49回学術集会（会長：竹内理事長）

2027年7月3日(土)・4日(日)ウイंकあいち（名古屋）

運営事務局：コンベンションプラス社

4) 第50回学術集会（会長：内田理事）

2028年6月24日(土)・25日(日)パシフィコ横浜会議センター（横浜）

運営事務局：サンプラネット社

6. 事業報告

1) セミナー事業（大塚理事）

- ・ 医師向けセミナー第4回 Refresher コースの受講期間が間もなく終了する。
受講期間は 11/1～30。受講料は 12,100 円（税込）。受講者数は 109 名。

2) 呼吸療法専門医 2025 年度〈更新・新規〉申請（佐藤理事）

- ・ 8/1～9/30 の期間で更新 43 名（対象 48）、新規 27 名からの申請を受理。
- ・ 専門医委員会で書類審査を行い新規 27 名に筆記試験案内。12/20(土)11:30～13:00 に新大阪で実施。客観問題 50 問の出題とし、試験時間は 90 分とする。

7. その他、今後の理事会予定（竹内理事長）

1) 2025 年度日程

- ・ 第1回理事会（Web 会議形式） 9 月 12 日(金) 18:00～19:30
- ・ 第2回理事会（Web 会議形式） 11 月 28 日(金) 18:00～19:30
- ・ 第3回理事会（Web 会議形式） 2 月 27 日(金) 18:00～19:30
- ・ 第4回理事会（Web 会議形式） 5 月 29 日(金) 18:00～19:30
- ・ 定時社員総会（Web 会議形式） 6 月 13 日(土) 17:00
- ・ 上記の日程を確認した。

II. 審議事項

第1号議案 委員会人事（佐藤理事）

- ・ 以下の委員推薦が委員会より上申され、承認された。

1) 編集委員会

- ・ 茂呂 悦子代議員（Ns）、宮崎慎二郎代議員（PT）を次期委員として推薦

第2号議案 賛助会員のホームページ公開について（竹内理事長）

- ・ 現在、賛助会員への入会案内は理事からの紹介を通じて個別に行っており、賛助会員は公開されていない状況である。また、賛助会員のバナー広告は希望があった企業のみホームページトップの下部に掲載している。
- ・ このたびのホームページリニューアルを機に賛助会員の一覧を掲載するページを設け、各企業サイトへのリンクを掲載することとした。また、バナー広告の自由掲載はいったん中断し、今後は別途掲載料などを設けることを検討することとした。

第3号議案 論文投稿にかかる COI 申告内容の変更案（清水理事）

- ・ 本会では、機関誌の投稿時には全著者に COI 申告が要件とされており、オンライン上で以下の項目を受け付けている。（Web 申請：<https://jrcm.securesite.jp/coi/>）

申告区分	◎本会の機関誌「呼吸療法」等で発表を行う著者の COI *COI は著者全員について、投稿時点の前の年から過去 3 年間および出版受理時点までの期間を対象に、発表内容に関する企業・組織または団体との COI 状態を自己申告記載
氏 名	
メールアドレス	
所属先・部署	
役員・顧問職	1 つの企業・団体から年間 100 万円以上
株 式	1 つの企業・団体から年間 100 万円以上あるいは当該株式の 5%以上保有
特許権使用料	1 つにつき年間 100 万円以上
日当・講演料等	1 つの企業・団体から年間 50 万円以上
原稿料	1 つの企業・団体から年間 50 万円以上
研究費・助成金	1 つの企業・団体から総額 100 万円以上
奨学寄附金	1 つの企業・団体から 100 万円以上
薬剤、機器、他	無償あるいはディスカウントで受領・借用
寄附講座	実質的に使途を決定し得る寄附金 100 万円以上
旅費・贈答品	1 つの企業・団体から年間 5 万円以上

- ・現時点では申告項目に論文名を記載する欄がなく、どの投稿論文にかかる COI 申告であるかが不明瞭な状態となっており、現状では同一年度内に複数の投稿を行う場合も一度の申告でいずれにも適用されている。
- ・利益相反委員会より、論文ごとに申告を受け付けるために申告項目に論文名の入力欄を追加する理事会への上申があり、承認した。

第 4 号議案 2026 年代議員審査・役員選挙（佐藤理事）

1) 2026 年代議員審査業務スケジュール

- ・2026 年の代議員審査実施に向けて、3 月から更新申請と新規申請受付を行い、代議員審査委員会での審査を経て 4 月中旬に持ち回り理事会を開催するスケジュール案が提示された。
- ・代議員審査後の役員選挙期間を、余裕をもって確保するため半月ほど受付開始を前倒しすることとした。調整後、理事会に報告を行ってから受付を開始する。
- ・参考までに、現理事・監事の役員任期についても確認した。

2) 役員選挙での Web 投票実施について

- ・2025 年度から定時社員総会を 6 月中旬にオンラインで開催することとなり、従来は学術集会前日の総会で現地投票を行っていた 2 年に一度の役員選挙を、今後は事前に Web 投票で実施する案が提示された。
- ・現地投票と Web 投票を併存させる、または Web 投票に一本化するかについて審議

したところ、今後学術集会が6月中に開催される年があったとしても役員選挙はWeb投票に一本化することとし、定款施行細則の変更を次項のとおり行った。

3) 役員選挙をWeb投票に一本化する定款施行細則変更案

- ・定款施行細則第13条を以下のとおり変更する。

「選挙理事および監事の選出は、~~定時社員総会における~~10日間の投票期間内に電子媒体を用いて、代議員の投票により行う。~~不在者投票は認めない。~~」
- ・定款施行細則第14条を以下のとおり変更する。

「(3) 以下の投票は無効とする。①~~正規の用紙~~所定の様式を用いないもの。」
- ・定款施行細則第19条を以下のとおり変更する。

「~~(3) 不在者投票は認めない。~~(4) 以下の投票は無効とする。①~~正規の用紙~~所定の様式を用いないもの。」
- ・上記の変更が承認された。
- ・一方、Web投票に際して、①投票期間終了時に選挙権をもつ代議員総数の投票が確認できないとき、②投票期間内の投票先変更の可否、の2点は継続審議とした。

4) 総会当日の理事・監事の報告ならびに新理事長選出方法

- ・定款施行細則第15条を以下のとおり変更し、選挙年に開催する総会では、役員選挙による選挙理事・監事の報告と、職責指定理事の報告で完結できることとした。職責指定理事は新理事長の選任事項とすることで、従来総会を中断して開催してきた臨時理事会は、今後は行わない。

「職責指定理事は、選挙理事選挙の年に代議員の中から新理事長がこれを選任し、~~社員総会に報告して承認を得~~する。」
- ・新理事長の選出は、定款施行細則第17条のとおり新役員による最初の理事会で互選することが定められており、総会の審議事項ではない。新役員の任期は定時社員総会終了後に始まるため、Web総会の終了後、新役員がルームに残って新理事長を互選し、あわせて職責指定理事も選出する。その結果は、その場に残った代議員にアナウンスするとともに、会員メールやホームページなどで報告を行うこととした。

【参考】Web投票の審議にあたり、現時点の方法の概要を以下に示す。

■役員選挙

- ①投票する代議員（約130名）に1つずつ投票用のアカウントを割り振る
なりすまし投票ができないようパスワードは単純なものは避ける
- ②そのアカウントを用いて投票ページから選挙理事5名、監事2名を選択する
理事と監事の投票は2段階に分ける
投票期間は10日間と定める

立候補者が定数と同数の場合は「立候補者を承認する」かについての投票とする
 ③選挙管理委員 2 名に、新大阪の事務局に来社いただくもしくは Zoom 上で開催する
 選挙管理委員会に出席いただき、各アカウントから投票された画面を確認して、透
 明性・公平性を担保する

■新理事長の互選

①投票する新理事（7 名）に 1 つずつ投票用のアカウントを割り振る
 ②そのアカウントを用いて投票ページから新理事長 1 名を選択する
 ③前理事長が理事のなかから選んだ選挙管理委員 2 名が、投票後に Zoom 上の別ルー
 ムで行う開票に立ち会い、各アカウントから投票された画面を確認して、透明性・
 公平性を担保する

Ⅲ. 委員会報告

9 月 22 日	18:00-18:30	チーム医療推進委員会
10 月 6 日	15:00-15:30	専門医委員会
27 日	18:00-19:00	チーム医療推進委員会
11 月 17 日	18:00-19:00	チーム医療推進委員会
21 日		EIT オンライン講習会（～11/30）
27 日	11:00-12:00	広報委員会
28 日		学会誌「呼吸療法 第 42 巻 2 号」発行

1. セミナー委員会（大塚理事）

1) ハンズオンセミナー地方開催案の議論

- ・2025 年 10 月から代議員宛に募集を開始した全国開催人工呼吸器ハンズオンセミナーへの講師派遣について、現在 1 施設からの応募があった。12 月末までの募集期間の後、採否について委員会で審議を行う。採択施設への支援については「2026 年度事業計画」に盛り込み、社員総会に上申する予定である。
- ・現状の応募スケジュールだと、10～12 月に募集し、委員会・理事会での確認の後、6 月の総会をもって承認され、7～12 月頃の実施という流れになっている。今後は、実施期間に制約が生じないように応募スケジュールを再考する。

2. 安全対策・危機管理委員会（大塚委員長）

1) 人工呼吸器の作動停止事例情報収集

- ・収集したデータおよび分析結果は第 47 回学術集会（2025 年）で発表し、学会誌（2025 年 2 号）で報告を行った。

2) 『人工呼吸器安全使用のための指針（第 2 版 2011 年）』改訂

- ・3 学会による最終案のパブリックコメントを実施した。現在、コメント内容を集計中である。

3. 広報委員会（吉田理事）

1) ホームページリニューアル進捗

- ・10月の公開に向けて委託先からリニューアル案が以下のとおり届いたが、デザイン・仕組みの双方で修正点があり、現在差し戻し中である。

2) SNS 投稿状況

- ・2025年8月よりXを開設し、2025年11月5日現在で、フォロー：1アカウント（日本集中治療医学会と相互フォロー）、フォロワー：240アカウントとなっている。
- ・第47回日本呼吸療法医学会学術集会関連、学会ホームページの内容、意見交換サイト「Joyful Board」などの投稿を中心に行っている。

3) コンテンツ案：以下のコンテンツの企画・制作を検討中。

【公開ページ】

- ・全国各地で行われている勉強会のお知らせ
- ・SNS リンク
- ・公開ガイドライン（他団体のガイドラインはリンク作成を依頼）
- ・公開動画と非公開動画のサムネ（見せるだけ）（手技と講義）
- ・ケア用品へのリンク
- ・説明資料（プリントアウトできる、看護師資料）：
ECMO、呼吸器、挿管・気管切開、NIV、HFNC、呼吸リハ、MI-E

【会員専用ページ】

- ・呼吸関連の講義動画（ロングバージョン）
- ・学術集会動画
→教育講演の各演者に許諾を得た講演を学術集会のオンデマンド期間終了後から「ホームページ動画コンテンツ」として1～2年公開する。
→著作権の問題があるので、動画コンテンツの掲載は2週間単位で回していくこととした。あわせて、本会には著作権チェックを行う部門がないので、著作権にかかる内容をチェックする委員会を整備していく必要性も提示された。
- ・手技動画（ロングバージョン）
- ・ガイドライン
- ・呼吸療法専門医テキスト
- ・3学会合同呼吸療法士テキスト
- ・Joyful Board リンク

【動 画】

- ①講義編
- ②手技編 ・吸引手技：変更点を中心に
- ③機器編 ・人工呼吸器：各種計測を中心に ・MI-E ・各種ネブライザー

4) 予算相談

- ・呼吸療法専門医研修施設をホームページ上で紹介する「呼吸療法専門医研修施設紹介企画 呼吸療法 PRO ―呼吸療法の“プロ”を巡る―」という企画案が提示された。制作会社に取材・制作を委託すると1案件につき30万円ほどの予算規模となる。本企画の予算ならびに制作・公開の実施について審議を行い、承認された。
- ・宣伝効果については未知数であるが、学会のブランディングという面で学会・研修施設の認知度を上げて会員数増につなげることが期待できる。看護師、臨床工学技士、理学療法士など多職種をターゲットにしたコンテンツに育てていく方針が示された。
- ・広報規制に抵触しないよう注意するよう指摘があった。一般市民が閲覧することも留意して制作していく必要がある。

4. 利益相反委員会（清水理事）

1) 機関誌の投稿時にかかる COI 申告

- ・機関誌の投稿時には全著者にオンライン上での COI 申告を受け付けている。
- ・現時点では申告項目に論文名を記載する欄がなく、どの投稿論文にかかる COI 申告であるかが不明瞭な状態となっており、現状では同一年度内に複数の投稿を行う場合も一度の申告でいずれにも適用されている。委員会で審議を行い、論文ごとに申告を受け付けるために申告項目に論文名を入力欄を追加することで一致した。

IV. 2025 年度中間会計報告

2025 年 4 月 1 日～2025 年 11 月 28 日（佐藤理事）

【収入の部】

1) 会費収入

- ・医師 849 名、多職種 499 名、合計 1,348 名分の会費収入を計上。2025 年 11 月時点で納入率が 75.1%となっており、会費収入も予算に対しほぼ同じ割合となっている。

2) セミナー等事業収入

- ・7 月開催の第 54 回セミナーの参加費のみ計上。11 月の Refresher コース、3 月の Basic コースは期末に計上予定である。

3) 専門医認定事業収入

- ・専門医：更新審査料 43 万円（43 名）、審査料（新規）27 万円（27 名）。登録料は筆記試験の合格者分を計上予定。
- ・研修施設：更新審査料 68 万円（34 施設）、審査料（新規）14 万円（7 施設）、登録料 14 万円（7 施設）。

4) 広告収入

- ・ユーザーレポートは 1 号が 1 社、2 号が 0 社掲載となった。

5) 機関誌販売等収入

- ・ 1 号の論文に著者 2 名から別刷の注文（3 万円）が入った。
 - ・ 1 号のユーザーレポートにコヴィディエンジャパン社から別刷注文による 38.8 万円の収入があった。
 - ・ サンメディア社、メテオ社、日本美術著作権連合からの文献使用料 4.5 万円の収入があった。
 - ・ パシオン社から 39-2 号の二次使用許諾料 50 万円の収入があった。
- 6) 書籍販売等収入
- ・ ECMO と小児在宅第 2 版にかかる 34 万円の印税収入があった。
- 【支出の部】
- 1) 機関誌
- ・ 1 号、2 号、いずれも内定した額を計上した。
- 2) セミナー
- ・ 医師向けセミナーは 11 月と 3 月の支出を期末に計上予定。
- 3) 委員会
- ・ 広報委員会はタグライン（45 万円）、ロゴ（25 万円）、ホームページディレクション費（125 万円）を計上。残りはホームページ制作費用を計上予定。
 - ・ ARDS 診療ガイドライン 3 学会分担費用 33 万円を計上。
- 4) 専門医等運営費
- ・ 呼吸療法専門医テキスト 2025 の編集・校正費 91.2 万円を計上。あと試験会場、試験監督旅費、マークシート代などを計上予定。
- 5) 社員総会費
- ・ オンライン総会による 500 名プラン費用を計上予定。
- 6) 交際費
- ・ 名誉会員の供花代 2.5 万円を計上。
- 7) 事務局委託費
- ・ 年度末に時間外分の請求が追加で計上される予定。
- 8) 租税公課
- ・ 消費税及地方消費税中間申告 107.8 万円を計上済。
- 9) 支払報酬・法人税
- ・ 会計士への報酬、法人税を計上済。